

演者が織りなす非日常な世界

10月12日午後6時、奈良川河川敷に勇ましい和太鼓の音が響き渡ります。

今年も、本町の太鼓集団「魁」の迫力ある演奏で幕を開けた「でちこんか2013・邦楽ライブ in きほく」。演奏が始まると同時に、会場は一気に盛り上がりを見せました。

続いて、演目を披露したのは、国指定重要無形民俗文化財である「江戸里神楽若山社中」による獅子舞。まるで本物の獅子がそこにいるかのような巧みな動きと、ユーモア溢れるストーリーが観客を独特の世界へと引き込みます。

そして、岡山県の「倉敷天領太鼓」による気迫に満ちた演奏へ。勇ましい形相で奏でられる重厚感溢れる和太鼓の音に、会場中が圧倒され、目を奪われていました。

松山市のダンスチーム「Team MOGA」は華やかな衣装を身にまとい、華麗なダ

ンスを披露。その幻想的な世界が観客を魅了しました。

この邦楽ライブでは、すっかりおなじみとなった東京都の太鼓集団「天邪鬼」が、熱のこもった演奏で会場を盛り上げると、いよいよフィナーレへ。

今年のフィナーレを飾ったのは、「魁」と「Team MOGA」による和太鼓とダンスの絶妙なコラボレーション。

目前に繰り広げられたそれぞれの個性溢れる世界観。それらが、会場を立ち去った後も、いつまでも観客の心に余韻を残していました。

1 江戸里神楽若山社中による獅子舞 2 太鼓集団「天邪鬼」が今年も迫力ある演奏を披露 3 太鼓集団「魁」とダンスチーム「Team MOGA」のコラボレーション 4 鬼北町の太鼓集団「魁」 5 松山市のダンスチーム「Team MOGA」が華やかなダンスで観客を魅了 6 岡山県の「倉敷天領太鼓」による気迫の演奏 7 観客への感謝を込めた一礼が最後を締めくくる

